

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	報連相ができていないこと、職員間のコミュニケーション不足、職員のレベルの違い等によりケアの統一ができていない。	報連相を徹底する。又、記録にもしっかり残すよう意識づける。	ユニット会議や担当者会議にて議題を提供し、少しずつケアを統一していく。 研修に行った職員から、ケア方法や知識を伝達してもらい、職員のケアレベルや知識、意識を近づける。	1年
2	66	職員のストレスが上手く発散できず、ケアをする際にも影響することがある。また、仕事にやりがいを感じる事ができずやる気がでない。	ストレスを軽減し、仕事のやりがいを見つける。	ユニット内で情報や不満、悩みが少しでも軽減できるよう、リーダーとスタッフが十分な話し合いの出来る、面談の時間を持つようにする。 又、メンタルヘルスの外部研修や施設内研修を充実させる。	1年
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。